



大事なことは市民が決める!

環境・福祉優先のまち

生活者ネットワークの政策や提案は、生活の中にある「どうして?」という素朴な疑問や意見からうまれています。

毎年行っている「ひとこと提案」などで市民のみなさんから意見をいただき、実態調査や学習会などを実施し、政策をつくりまします。

政策実現に向け、市民とともに議会や行政への働きかけを行ったり、生活者ネットワークの議員が議会で質問を行い、ごみ、介護、子育てなど、生活課題に取り組んできました。



例えば...

「公共交通のない地域の移動支援について」



○「公共交通がない地域で高齢になって移動が大変」の声

- 学習会で専門家の話を聞く
- 該当地域の調査を行う
- 他市の事例を見に行く(写真)



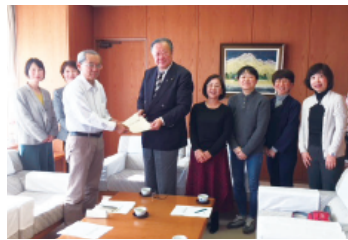
○議会で質問

○行政の検討が始まる(順番や方法は事例によっていろいろです)



限られた財政の中で、多様な当事者の意見も反映しながら市政を運営するには、市長・行政による運営をきちんとチェックする議会と議員が必要です。また、その前提に市民参加は欠かせません。

生活者ネットワークは、「大事なことは市民が決める」西東京にしていきます。



市への予算要望は、「ひとこと提案」活動からの意見も反映。(写真は昨年の提出)ひとこと提案用紙は、西東京・生活者ネットワークのホームページからもダウンロードできます。

生活者ネットの政策

ひとりにしない! 子育て・介護

■孤立させない子育て支援で、虐待をゼロに! ■在宅での介護・医療を支える基盤を強化します

すべてのひとの人権が保障されるまち

■あらゆる困りごとに対応できる総合相談窓口を、身近につくりまします ■生活困窮者に寄り添う支援・制度を拡充します ■障がい者の切れ目ない支援を実現します

大事なことは市民が決める

■財政運営を厳しくチェックします ■庁舎も公民館も図書館も! 新しいまちのカタチは、市民とともに描きまします ■空き家を活用したコミュニティの拠点をつくりまします ■交通弱者にやさしい移動支援を実現します

子どもがいきいき育つまち

■子ども食堂や放課後カフェなどの居場所づくりを応援します ■子どもや若者の意見をまちづくりに生かします

命をつなぐ環境をまもる

■ストップ 気候変動! 省エネルギー、創エネルギーで脱原発 ■農地を活かし、環境を守り育てる機会をつくりまします

☆憲法9条をいかし、地域から平和をつくりまします

生活者ネットワークってなに?

生活者ネットワークは、都内34自治体にあり、都議会議員、市・区議会議員48人の地域政党です。

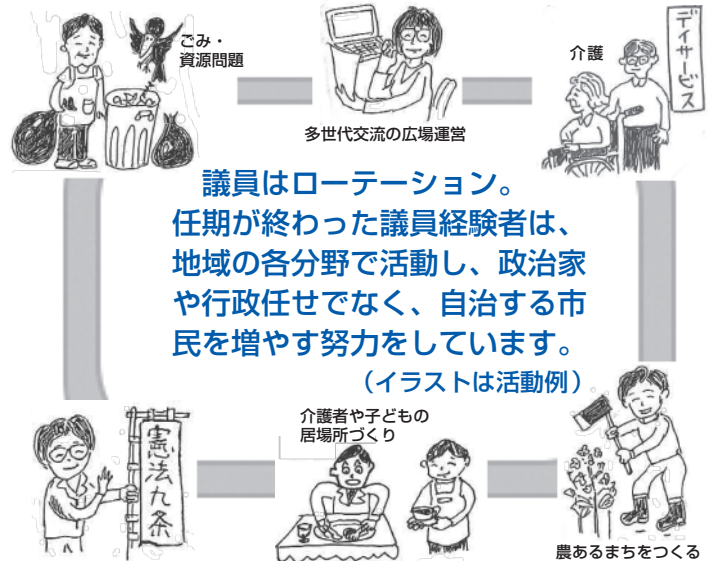
生活者ネットワークは、「政治は暮らしを豊かにする道具」ととらえ、市民の生活の中にある問題や地域の課題を政策化し、そこに関わる人とともに解決します。

生活者ネットワークの議員は問題解決のコーディネーターとして政治と生活をつないでいます。西東京では、1983年～議員を送り続けています。

生活者ネットワークの3つのルール

- 1 議員はローテーション
生活者ネットワークの議員は最長でも3期12年で交代し、議員を職業化、特権化しません。
- 2 議員報酬は市民の活動資金に
議員報酬は市民の政治活動資金として使い、お金の流れはすべて公開します。
- 3 選挙はすべて手づくり
選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

西東京・生活者ネットワークの活動リポート



議員はローテーション。

任期が終わった議員経験者は、地域の各分野で活動し、政治家や行政任せでなく、自治する市民を増やす努力をしています。

(イラストは活動例)

■あなたの「ひとこと」をお寄せください。
FAX 042-410-0014 E-mail: nishitokyo@seikasusha.net
■カンパとボランティアの政治活動を行っています
カンパはこちらをお願いします
郵便口座 00170-9-36320 西東京・生活者ネットワーク